



## Wonder Farmer Project 「いきもののすみか作り」

畑の周りに生き物のすみか作りをしました。「石を積む」「枝を積む」「落ち葉をまく」といった作業を分担し、生き物たちがその場所に来てくれるように工夫しました。

作業の様子を見ていて、子どもたちが活動しながらそれぞれよく考えをめぐらせている様子が伝わってきました。



### ・積んだ石に棒を差し込んでいる子

→最初は遊んでいるのかなと思いましたが、聞いてみると、鳥から逃げられるように、十分な隙間があるか確かめていたそうです。最後に、「全部隙間があるように作りました！」と報告してくれました。

### ・いろんな場所に石をまく子たち

→石を積む場所は一か所ではないほうが良いと判断したようです。理由を聞くと、ある子は、「一つだと強い子に場所をとられちゃって、弱い子がすめないから」と言い、またある子は、「何か所もあれば、鳥に襲われても近くの隙間に逃げれるから」と言っていました。理由に説得力があり、とても感心しました。

また、看板づくりを担当した子たちは、絵の具を使って看板を作りました。どの看板も思いがこもっていてとてもすてきですね。

わくわく感がどんどん大きくなり、Wonder Farmの名にふさわしい場所になってきています。近くを通った1年生が、「いいな。ぼくたちも畑で野菜作りたいな」とつぶやいていました。2年生の子どもたちの生き生きと活動する様子やできあがった成果（畑）が、下級生へ夢や憧れを与えているのだなと感じ、うれしくなりました。



## いろんな生き物たちが来ています

2年生のプロジェクト以外にも、4年生がビオトープを作ったり、5年生が田んぼを作ったりと、いくつかの学年で環境整備に取り組んでいる成果か、SOLANで今年初めてみる捕獲された生き物がいます。

子どもたちの学習活動で、環境が確実によい方向に変化していることが実感できます。この経験が、「自分たちなら社会をよりよくできる!」「自分たちにできることをやろう!」という、自信や社会参画への姿勢に繋がっていくことを期待しています。



### 【ゲンゴロウ】

田んぼができたからでしょう。さっそくやってきました。水生昆虫は羽があるので、実は飛ぶことができます。

田んぼに放流したオタマジャクシをエサにするかもしれないですね。幼虫はなかなかグロテスクな姿をしています。

よく似た水生昆虫がいくつかいますが、体の両端に白い線が入っていること、後ろあしが水をかきやすいヒレのようになっているのが特徴的です。



### 【名前がよく分からない虫】

ゴミムシダマシの仲間ではあると思いますが、調べても名前がよく分かりません。

細長くてキマワリとは少しちがう感じがします。詳しい人で名前が分かる人がいたらぜひ教えてください。

剪定した枝がおかれている場所によくいます。

クワガタやカブトムシに似たフォルムなので、子どもたちから人気です。



### 【ヌマガエル】

水場が近ければどこにでもいるカエルですが、3年間SOLANで過ごして初めて捕獲が確認されました。田んぼやビオトープ目当てにやってきたのでしょうか。

2年生が捕まえたのがよほど羨ましかったのか、1年生が網を片手に「カエル捕まえに行こう!」と言って外に向かう姿はとても微笑ましいです。

カエルは生態系の豊かさのシンボルだと思っているので、どんどん増えてほしいですね。